

過去に承認した例

	申請者種別	事業概要	申請目的	事業内容	後援承認時のポイント
例 1	NPO法人・一般社団法人・公益財団法人等	児童作品展	①子どもたちの感性を絵画等に表現することで情操を養い、豊かな心を育てる。 ②ボランティア・学校・地域が連携することで地域社会の絆を深め、心身ともに健康な活力のあるコミュニティをつくる。	①区内小学生を対象として絵画作品を募集し、審査の上、優秀作品を区役所に展示する。 ②優秀作品数点を区内病院等にも展示し、学校を通じて子どもたちに感想を届ける。	子どもたちの豊かな心を育てるだけでなく、地域と学校等が連携することで区政振興発展に寄与するイベントであること。
例 2	株式会社	プログラミングを学ぼう	①子どもたちがプログラミングに興味関心を持ち、楽しく学ぶ機会を作る。 ②イベントを通して、子どもたちに新しい知識や経験を与え、知見を広げるきっかけ作りに貢献する。	子どもたちを対象とした、イベント会場でのプログラミング体験・専門家を招いての鉱石発掘やクイズラリーの開催。	事業目的が教育行政の普及向上に寄与するもので、公益性が極めて高いものであること。
例 3	株式会社	産官学金によるプラットフォームの推進	産官学金などの多様な機関が協力し、事業創出や協業を推進するため。	①創業支援・事業成長支援プログラムの運営 ②事業会社等によるオープンイノベーション（※）推進や共創・協業・新規事業開発に関する支援 ※ 他の企業や大学、スタートアップなどと協力して、新たな技術やサービスを生み出す仕組み	①地域経済活性化に資する取組であり、広域的な支援連携の一環であること。 ②スタートアップ（※）育成に対する民間主導型支援であり、公共性・非営利性が極めて高いものであること。 ※ 革新的な技術やビジネスモデルで急成長を目指す創業間もない企業
例 4	NPO法人・一般社団法人・公益財団法人等	親子で多言語に触れるワークショップ	ワークショップを通して、性別や国籍を問わず国際理解を深めたり、子どもたちに様々な国の言語を楽しく身につけてもらう。	親子や友達と様々な国の言葉を使ってゲームをしたり、ネイティブを招いて海外の体験談を聞いたりして国際交流を楽しんでもらう。	事業が教育行政の普及・向上を目的としたものであり、児童・生徒が広く参加できるイベントであること。
例 5	区内文化スポーツ団体	スポーツの体験会	スポーツをやりたいが機会がなかった方に、スポーツの楽しさを知ってもらうことを目的とした体験会を行う。	区内の小学生を対象としたスポーツの体験会を実施する。ルールの説明、安全に配慮した内容で実際に体験してみる。	事業目的が地域活動の活性化、スポーツ・文化芸術活動の発展及び地域の発展に寄与するもので、公益性が確保されたものであること。